呉市立呉中央小学校　　外国語活動学習指導案

指導者　T1 外国語担当 神原 真生
T2 A L T Jennifer Bryan

単元名　She can run fast.　He can jump high. “We Can!1 Unit5”
～先生たちの得意なことを紹介し合おう～

学 級　第5学年3組 38名

1　単元について

【単元観】

本単元は，学校の先生の得意なことをインタビューすることで調べ，それを紹介し合うことをゴールの活動として設定している。単元のゴールに向けて，友達とお互いのできることを尋ね合ったり，友達のできることを紹介したりする活動を取り入れ，最後には，自分の考えを含めて先生の得意なことを紹介できるよう単元を構成している。また，やり取りをする中で，友達や先生の意外な一面を知ったり，自分との違いや共通点に気付いたりすることもある。新たな一面に気付くことでコミュニケーションが深まると考える。

本単元では，初めて三人称に出合う。これまで一人称と二人称のみで自分のことを伝えたり相手のことを受け止めたりしてきたが，この単元の学習を通して，身近な第三者について話すことができるようになる。また，動詞変化を伴わない can を扱うため，無理なく三人称の学習を進めることができる。

さらに，文字には名称の他に音があることに気付かせ，それに慣れ親しませることもねらいとしている。音声に慣れ親しませながら，少しずつ書いたり読んだりする活動を取り入れ，音声と文字との関係にも気付かせるきっかけとすることができる単元である。

【児童観】

本学級の児童は，昨年度までの２年間，週１時間の外国語活動の学習をしており，これまで約７０時間の外国語活動の学習経験をしている。５月に実施したアンケート調査によると，「外国語活動の授業に進んで参加している」という項目について，８７％の児童が肯定的回答をしている。昨年度の同アンケート調査の結果と比較すると肯定的回答をした児童は減少しているが，「もっと英語を学びたい」という項目に関しては肯定的回答をした児童が増加していた。また，学習の中で取り組んでいるコミュニケーション活動は楽しんでいる児童が多く，活動を通して友達のことをより深く知ったり，よりよい人間関係づくりにつながったりすると感じている児童が増えてきた。

一方で，ペアでやり取りをする場面では，決まった表現を使うことで精一杯になり，自分の考えや気持ちを伝えることが十分にできていない児童も見受けられる。コミュニケーションの楽しさや良さを感じつつも，表現が形式的になっているために，自分の考えや気持ちを伝えることができていない。また，４月当初からの児童の様子や振り返りに記述している内容などから，５年生になって学習内容が難しくなってきたことで，不安感や苦手意識が高まっている児童がいるのではないかと考える。

【指導観】

指導に当たっては，単元のゴールに，インタビューを通して得た情報をもとに，校内の先生の得意なことを学級の友達と紹介し合うという言語活動を設定する。学習した三人称を使って紹介するものとし，自己紹介するだけでなく，その紹介内容に関連した質問をしたり答えたりすることで，児童が互いに自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。

単元の始めにはニュースなどメディアの情報を用いて世界的に有名な日本人のスポーツ選手を紹介し，得意なことを生かして世界で活躍する人がいることにふれる。そして，友達や家族，先生など，身近な人について思いを巡らせ，自分がまだ知らない，それぞれの人の素敵なところはないか想像させることで，身近な人についてより知りたいという思いを持たせたい。また，本単元では様々な動作を表す語にも出合うが，疑問文から導入してそれぞれの動作ができるかできないかを答えさせることで，まずは動詞に着目させ繰り返し聞くことができるようにする。また，動作を表す語にはスポーツなど「play ～」と表現するもの，楽器など「play the ～」と表現するもの，それ以外の表現のものに分類し，表現の違いに気付かせ，混乱せず使い分けられるように慣れ親しませたい。

ゴールの活動に向けての各時間では，自分や第三者の「できること」や「できないこと」について，ペアでやり取りをする活動を設定する。やり取りを通して知り得た互いの得意なことに対して，既習の表現を使ってさらに質問したり，自分の気持ちを伝えたりすることで，やり取りを続けることができると体感させたい。

さらに，毎時間の帯活動としてジングルに取り組み，文字には音があることに気付かせたい。特に単語の初頭音に着目させることで，より音への意識を高めさせ，単語を類推して読む力を付けさせたい。そして，十分に慣れ親しんだ表現を用いて，書写の活動にも取り組み，音声と文字の関係にも少しずつ気付かせるようにする。

2　単元の目標

〇進んで，自分や第三者について，インタビューしたり紹介し合ったりしようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

〇自分や第三者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
【外国語への慣れ親しみ】

〇意味を考えながら当てはまる語を選んで書き写し，文を完成させる。　【外国語への慣れ親しみ】

〇文字には音があることに気付く。　【言語や文化に関する気付き】

3　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
〇進んで，自分や第三者について，インタビューしたり紹介し合ったりしようとしている。	〇自分や第三者について，できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 〇意味を考えながら当てはまる語を選んで書き写し，文を完成させている。	〇文字には音があることに気付いている。

4　単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	友達や先生などの身近な人についてよりよく知るために，できることやできないことについてインタビューし，クラスの仲間と紹介し合う。
目指す発話例	**〈人物紹介例〉** S1 : This is 〇〇 sensei. [He / She] can play soccer. [He / She] can't play basketball. [He / She] can play *kendama.* It's nice! I can't play *kendama.* But I can play *shogi.* **〈やり取り例〉** A: Do you like baseball? B: Yes, I do. A: Can you play baseball? B: Yes, I can.　I can hit a home run. A: Wow. C: Do you like music? B: Yes, I do. C: Can you play the piano? B: No, I can't. D: What can you play? B: I can play the violin. D: Sounds good.

5　言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
Can you (sing well)? – Yes, I can. / No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well). Do you like (soccer)? –Yes, I do. / No, I don't. I [like / don't like] (soccer) very much. What (sport) do you like? What can you do?	can, can't, he, she, Mr., Ms. 動作を表す語 (play [the recorder / the piano], ride a [bicycle / unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well) スポーツ，日課

6　単元計画

学習過程	時	目標（◆）と主な学習活動（○） 【　　】=We Can！に誌面化されている活動	評価規準【観点】 （評価方法）
課題設定	1	◆単元のゴールを知り，単元の見通しをもつ。 動作を表す語を知り，できるかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 文字には音があることに気付く。 【Jingle】Animals Jingle 【Sounds and Letters】 ○Small Talk ○できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【Let's Play 2】いろいろな動作を表す言葉を言おう。 (play / play the を用いた表現) ○友達にできるかどうかたずねてみよう。 目指す発話例 A: Can you play soccer? B: Yes, I can. / No, I can't. A: I see. / Nice. B: Can you play the piano? A: Yes, I can. / No, I can't. B: I see. / Nice.	【コ】 play を使った動作を表す表現を用いながら，できることやできないことについて，進んで尋ねたり答えたりしようとしている。 （行動観察， 振り返りカード） 【気】 文字には音があることに気付いている。 （行動観察，ﾜｰｸｼｰﾄ， 振り返りカード）
情報の整理・分析	2	◆いろいろな動作を表す語を用いて，できるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【Jingle】Animals Jingle 【Sounds and Letters】 ○Small Talk 【Let's Play 2】いろいろな動作を表す言葉を言ってみよう。 (play 以外を用いた表現) 【Let's Chant】①Can you sing well? 【Activity1】ペアの友だちインタビューしよう。 【Activity2】クラスの友だちにインタビューをして（　　）にサインをもらおう。(Activity 1 で選択しなかった質問) 目指す発話例 A: Can you play *kendama*? B: Yes, I can. / No, I can't. A: I see. / Nice. B: Can you do *kendo*? A: Yes, I can. / No, I can't. B: I see. / Nice. A: Can you swim? B: Yes, I can. / No, I can't. A: I see. / Nice.	【慣】 play 以外の動作を表す表現を用いながら，できることやできないことについて，尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 （行動観察， 振り返りカード）

<table>
<tr>
<td rowspan="2">情報の整理・分析</td>
<td>3</td>
<td>◆自分ができることやできないことについて，尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。
【Jingle】Animals Jingle
【Sounds and Letters】
【Let's Chant】①Can you sing well?
〇Small Talk　できるかどうかをたずね合おう
【Let's Watch and Think 2】登場人物のできることやできないことを聞き取ろう。
〇できることやできないことを伝え合おう。

目指す発話例
A: Can you play kendama?
B: Yes, I can.　I can play kendama.
A: I see. / Nice.
B: Can you do kendo?
A: No, I can't.　I can't do kendo.
But I can do judo.
B: Wow.　Me too.
Can you play baseball?
A: No, I can't.　But I like baseball.
B: Oh, you like baseball.</td>
<td>【慣】
自分ができることやできないことについて，尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。
（行動観察，ﾜｰｸｼｰﾄ，振り返りカード）</td>
</tr>
<tr>
<td>4
【本時】</td>
<td>◆友達についてもっとたくさんのことを知るために，進んで，できることやできないことについて，尋ねたり答えたりしようとする。
【Jingle】Animals Jingle
【Sounds and Letters】
〇Small Talk
〇Let's Talk①
〇Let's Talk②

目指す発話例
A : Do you like sports?
B : Yes, I do.
A : What sports do you like?
B : I like baseball and soccer.
A : Can you play baseball?
B : No, I can't.
A : I see.　Can you play soccer?
B : Yes, I can.
A : Good.　Do you like music?
B : Yes, I do.
A : Can you play the piano?
B : No, I can't.
A : Can you sing well?
B : Yes, I can.
A : Wow!　What music do you like?
B : I like ～ .</td>
<td>【コ】
友達についてもっとたくさんのことを知るために，進んで，できることやできないことについて，尋ねたり答えたりしようとしている。
（行動観察，振り返りカード）</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td rowspan="2">情報の整理・分析</td>
<td>5</td>
<td>◆やり取りを通して聞き取った友達のことついて伝える表現に慣れ親しむ。
【Jingle】Animals Jingle
【Sounds and Letters】⑤
〇Small Talk
【Let's Watch and Think 2】友達についての紹介を聞こう。
【Let's Listen3】どの人物のことかを考えて，（　）に番号を書こう。
〇Let's Talk①　いろいろなキャラクターやスポーツ選手など有名人のできることを言おう。
〇Let's Talk②　友達のできることについて紹介しよう。

目指す発話例
A: Do you like baseball?
B: Yes, I do.
A: Can you play baseball?
B: Yes, I can.　I can hit a home run.
A: Wow.
C: Do you like music?
B: Yes, I do.
C: Can you play the piano?
B: No, I can't.
D: What can you play?
B: I can play the violin.
D: Sounds good.

S1：This is ＿＿（S4）＿＿ san.
She can ＿＿＿＿＿＿＿＿.
SS：I see. / Nice.
S2：She can ＿＿＿＿＿＿＿＿.
SS：Oh, nice.
S3：She can ＿＿＿＿＿＿＿＿.
SS：Wow. Really?</td>
<td>【慣】
やり取りを通して聞き取った友達のことついて伝える表現に慣れ親しんでいる。
（行動観察，
振り返りカード）</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>◆第三者について，できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
【Jingle】Animals Jingle
【Sounds and Letters】⑥
〇Small Talk
【Let's Chant】④ He can run fast. She can sing well.
〇Who is he? Who is she? クイズ
人物紹介カードに示された情報をもとに質問したり答えたりしよう。

目指す発話例
A: Who is she?
B: Can she swim?
A: Yes.
C: Can she cook?
A: No.
C: Can she play the piano?
A: Yes.
B: Can she play badminton?
A: No.
B: Can she play kendama?
A: Yes.
B&C: Is she 〇〇さん？
A: That's right. / No.

〇インタビューする先生のできることやできないことを予想する。</td>
<td>【慣】
第三者について，できることやできないことを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。
（行動観察，
振り返りカード）</td>
</tr>
</table>

	7	◆インタビューを通して得た情報を基に，第三者ができることやできないことについて，話したり書いたりする表現に慣れ親しむ。 【Jingle】Animals Jingle 【Sounds and Letters】 【Let's Chant】④ He can run fast. She can sing well. 〇Small Talk 【Activity 4】先生にインタビューして分かったことを書こう。 〇『先生紹介カード』を作ろう。 〇ペアで先生の紹介をし合おう。 目指す発話例 This is _____ sensei. He can play soccer. But he can't play baseball. He can play the guitar. I can't play the guitar. But I can play the piano. Thank you.	【慣】 インタビューを通して得た情報を基に，第三者ができることやできないことについて，話したり書いたりする表現に慣れ親しんでいる。 （行動観察，ﾜｰｸｼｰﾄ，振り返りカード）
実行・振り返り	8	◆進んで，自分や第三者について，できることやできないことを伝え合おうとする。 【Jingle】Animals Jingle 【Sounds and Letters】 〇Let's Talk グループで先生のことを紹介し合おう。 目指す発話例 This is _____ sensei. He can play soccer. But he can't play baseball. He can play the guitar. It's nice. I can't play the guitar. But I can play the piano. Thank you. *Reaction* I see. Wow. Nice. Great! Cool. 〇『先生紹介カード』を読み合おう。 【STORY TIME】Kazu と Maria の算数についての対話 〇単元の振り返りをしよう。	【コ】 進んで，自分や第三者について，できることやできないことを伝え合おうとしている。 （行動観察，ﾜｰｸｼｰﾄ，振り返りカード）

7　本時の学習

（1）目標

友達についてもっとたくさんのことを知るために，進んで，インタビューしたり紹介し合ったりしようとする。【コ】

（2）評価規準

友達についてもっとたくさんのことを知るために，進んで，インタビューしたり紹介し合ったりしようとしている。【コ】

（3）準備物

TV，PC，動詞・名詞絵カード（教師用，児童用）振り返りカード

（４）本時の流れ（４/８時間）

学習過程	学習活動	指導上の留意事項		評価規準【観点】（評価方法）
		T1	T2（ALT）	
導入	1 Greetings Hello, everyone. Let's start English class!	○児童に対して呼びかけるようにして，外国語活動の始まりの雰囲気を作る。	○曜日，日にち，天気について，児童とやり取りをする。 ○コミュニケーションの４つのポイント（四つ葉のクローバー）を確認する。 ① What day is it? ② What is the date? ③ How is the weather?	
	2 Animals Jingle	○デジタル教材のあとに続いて言えるところは言ってみるよう助言する。	○デジタル教材に合わせて言う。	
	3 【Sounds and Letters】	○デジタル教材を活用し，小文字の音について確認する。	○発音の仕方をして見せ，真似させる。	
	4 Small Talk ・自分のできることやできないことについて話す。	○自分のできることやできないことについて，既習表現を用いながら ALT との会話を聞かせ，単元のゴールを意識させる。 T1: I like music. Do you like music? T2: Yes, I do. T1: Can you play the piano? T2: No, I can't. Can you play the piano? T1: Yes, I can. I can play the piano. T2: Nice! T1: I play the piano on holidays. T2: Sounds good. T1: What do you do on holidays? T2: I like playing video games. T1: Oh, you like playing video games. Can you play video games very well? T1: Yes, I can play video games well. ○児童に，ALT に尋ねてみたいことを尋ねさせる。 ○何人かの児童とやり取りをしていく内に，児童の理解が深まるようにする。	○T1 とのやり取りの表現を用いて，児童に尋ねる。	
	5 本時のめあてを知る。			
	Unit's Goal 先生たちの得意なことを紹介し合おう			
	Today's Goal 友達のことをもっと知るために，尋ねたり答えたりしよう。			

展開	6　Let's Talk① ・３人グループで，お互いをよく知るためのやり取りをする。 ・意外な一面を発見したグループに，全体で発表させ，やり取りでの表現について確認する。	○既習表現を使って，できるかどうかを尋ねさせる。まずはできそうなことはどれか，予想をして尋ねさせる。 ○みんなが知らないような意外な一面や特技などを聞き出すためにはどのような質問をすればよいか，既習表現を駆使し，グループで助け合いながらやり取りをさせる。 ○児童のやり取りを聞かせ，良かったところについて確認をして真似をするよう指示をする。 ○言いたかった（尋ねたかった）けど言い方が分からなかったことなど，困ったことはなかったか確認し，表現を広げるようにする。	○児童のやり取りを聞き，サポートする。 S2：Do you like sports? S1：Yes, I do. S3：What sports do you like? S1：I like baseball and soccer. S2：Can you play baseball? S1：No, I can't. S2：I see.　Can you play soccer? S1：Yes, I can. S2：Good. S3：Do you like music? S1：Yes, I do. S3：Can you play the piano? S1：No, I can't. S3：Can you sing well? S1：Yes, I can. S2：Wow!　What music do you like? S1：I like ～ . ○児童から尋ねられた質問に答える。	
	7　Let's Talk② ・グループでのやり取りを生かしながら，ペアでやり取りをする。	○これまで知らなかった友だちのことについて，既習表現を駆使して聞き出すよう伝える。 ○困った時には T1，T2 に"How do you say～?"と尋ねてもよいことを伝える。	○児童が言えなかった表現を言って使わせるようにする。	【コ】友達についてもっとたくさんのことを知るために，進んで，インタビューしたり紹介し合ったりしようとしている。 (行動観察， 振り返りカード)
まとめ	8　Looking Back ・本時のめあてに対する振り返りをする。	○本時のめあてに触れ，既習表現を駆使することで，友達の新たな一面に気付くことができたかを振り返らせ，コミュニケーション活動の良さを感じさせるようにする。	○児童の，英語を使って会話を続けようとする態度や意欲について称賛する。	
	【児童の振り返り】 ・自分と同じ特技を持っている友達がいることが分かった。 ・友だちの意外な一面を知ることができて嬉しかった。 ・自分ができることを友達に知ってもらって嬉しかった。 ・できることを聞くときに，その人の好きなことも聞くと，何ができるか予想しやすかった。 ・今までに習った表現を使っていろいろなことを尋ねたら，もっと友達のことがよく分かった。			
	9　Greetings ・終わりの挨拶をする。 Let's finish English class. See you!	Let's finish English class. See you!	Let's finish English class. See you!	

（５）　板書計画

Unit's Goal　　先生たちの得意なことを紹介し合おう

Today's Goal　　友達のことをもっと知るために，尋ねたり答えたりしよう。

４つの観点

Friday

July 5th

Sunny

Can you ~ ?

-Yes, I can.

-No, I can't.

Do you like ～ ?

What (　　) do you like?

Word List

（動作を表す語）